



榎本 雅夫 議員

## 障がい者の方への支援の充実を

**質問** 避難所のトイレの現状と、組み立てトイレの備蓄状況は。

**総務部長**

53カ所の避難所に洋式トイレの手すり有りが101、無しが120。和式トイレの手すり有りが42、無しが38。多目的トイレは37。  
障がい者に対応した組み立て式のトイレは55台備蓄している。

**質問**

避難所は和式が多く、障がい者がトイレに行くのは大変である。洋式の便座にもできる簡易段ボールトイレを備蓄してはどうか。

**総務部長**

検討して、取り入れていく。

**質問**

障がい者の就労支援の取り組みは。

**福祉部長**

障害者地域生活支援セン

ターで就職、就業先の開拓を行って雇用の促進を図っている。

**質問**

色覚障がい者に配慮したカラーバリアフリーの取り組みは。

**福祉部長**

現状は取り組んでいないが、先進の自治体の状況を参考にして検討したい。

**総務部長**

統合庁舎において、サイン表示など取り組んでいく。

**質問**

公共施設の駐車場に内部障がい者マークである、「ハート・プラス」を掲示しては。

**総務部長**

統合庁舎において、車イス駐車場の隣に、思いやり駐車場ということで設置予定。

内部障害者に理解を深める



ハート・プラス

## 市民の健康を守る取り組みは

**質問**

特定健康診査の受診状況は。また、地区別受診率と周知は。

**市民生活部長**

平成23年度は、対象者1万4千713人で、受診者5千617人。38・2%で、21年度よりほぼ毎年横ばいの状況だ。佐屋地区44・6%、佐織地区37・2%、八開地区30・3%、立田地区27・2%である。

受診率向上のため、啓発活動として、回覧板を出したり、未受診者へ再勧奨の通知などを実施している。

**質問**

がんは、医療の進歩により治る病気になってきた。そのためにも早期発見が不可欠である。がん検診の受診状況は。

また、胃がん検診の検査項目にピロリ菌の除菌を追加して実施すれば、費用対効果が期待できると考えるが。

**市民生活部長**

23年度は、胃がん15%、子宮がん9%、乳がん12%、大腸がん24%、肺がん19%、前立腺がん23%。

ピロリ菌検査は、現段階では公的検診で行わない。